

# ぐんま連盟だより



発行日：令和5年2月

発行者：日本栄養士連盟

群馬県支部



## 「ごあいさつ」

寄稿 栄養士議員連盟 最高顧問 参議院議員 中曽根弘文

日本栄養士連盟群馬県支部の皆様におかれましては、日頃より県民の健康増進とともに自らの知識向上のためにご尽力を頂いておりますことに心より敬意を表します。

人生100年時代を迎えようとするなかにあつて、生涯を元気に活躍できる社会の実現に向けて、健康寿命を延ばすため、政府は様々な取り組みを進めています。個人と企業や社会全体が協力して、運動、適切な食生活、禁煙、健康診断の受診を実行し、病気の予防、健康増進への取り組みを継続していくことの必要性も広く認識されるようになっていきます。

一方で、WHOが発表した2021年版の世界保健統計によると、男女合計の平均寿命では日本が84.3歳で1位でした。しかしながら健康寿命はシンガポールが1位で、日本は2位の74.8歳でした。生涯を健康に長生きできる社会づくりは日本の大きな課題となっています。

そのために「食を通じた健康作り」は、生まれてから亡くなるまで全ての世代に通じる大変重要なものであり、「食育」という言葉も広く定着してきています。現代は、肥満や生活習慣病が増える一方で、高齢者の低栄養や若年女性のやせの問題など、食の乱れの問題は大きな課題となっています。過度な間違ったダイエットや、ファストフード等による栄養の偏り、情報過多で、サプリメントなどに頼った飽食の時代の中での栄養バランスの崩れや、コロナ禍の影響による不摂生などで健康を害する人も多くいます。子供の成長期、メタボの改善、骨粗鬆症の改善、アレルギーの改善などを始め幅広い年代で、科学的知識に基づいた指導が一層重要になっています。

皆様の活躍の場は病院や福祉施設、学校、研究機関などを始め大変幅広いものであり、「地産地消」を具体的に推進して下さる大きな力でもあります。

皆様のお仕事は、食の質を高めることで人生の質を高める羅針盤のような役割を果たして頂いており、現代社会において大変大切な責任を担って下さっています。

栄養士会ならびに栄養士連盟の更なるご発展と、栄養士の皆様の一層のご活躍を心より期待致しております。

## 「一人ひとりの力を！結集しよう!!」

支部長 小坂桂子

会員皆さまには日頃より連盟活動におきましてご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。実力ある前支部長の黒岩董子様より引継ぎ、令和4年度から新役員体制にてスタートしております。2022年7月の参議院議員選挙活動、そして11月には栄養士議員連盟加盟議員(全国では現在239名の大きな議連です)の先生並びに長きにわたり暖かなご指導を頂いております県議会議員の皆さまにご臨席賜り研修会も開催いたしました。



栄養士・管理栄養士として国民の健康づくりに寄与するためにも、誇りを持って働け、地位・身分がさらに確立した希望のある仕事となる為の連盟活動にしたいと考えます。会員皆さまとご一緒に一步一步未来に向けて活動して参りましょう！

【2022年11月27日 日本栄養士連盟

群馬県支部役員研修会報告】

参議院議員 清水真人先生、

県議会議員 中澤丈一先生にお越しいただき

- ①福祉施設における管理栄養士の現状と課題
- ②認定栄養ケア・ステーション活動の現状と課題
- ③保育所等の現状と課題 他

を各職域から現場の声として、栄養士・管理栄養士の現状をお伝えいたしました。



「研修会に参加して」 ～幹事からの感想～

○医療事業部

参議院議員 清水真人先生と県議会議員 中澤丈一先生をお迎えし、和やかな雰囲気の中、意見交換が行われました。プレゼンテーションに対して、先生方が真剣にメモを取って下さっている姿や栄養士・管理栄養士の必要性について直接ご意見を頂き、とても有り難い事であると実感致しました。各職域で抱えている課題を出席者で共有出来た事もとても良い機会だったと思います。

○福祉事業部

今まで選挙にあまり関心がなく、とりあえず投票に行こうか…と言った気持ちでした。しかし、昨年の参議院選挙の際に選挙拠点へ訪問し決起大会にも参加し、立候補者の先生方とお会いし強い想いや熱意を感じる事が出来ました。そして今回の研修会においても、若輩者の私の意見にも耳を傾けてくださり、福祉施設や栄養教諭の配置基準、認定栄養ケア・ステーションの拡充など法律の整備には沢山の課題がある事。そして、先生方のお力添えが必要な事を知ることが出来ました。与えられた一票を大切に、連盟活動に参加していきたいと思えます。

○福祉事業部

今年度から連盟幹事をさせていただき、栄養士それぞれの課題があり、解決には自分たちの力だけでは難しく法律を変えていただいたり、新しく作っていただいたりしなければならぬのだとわかりました。これまでも、先輩方が政治家の先生に働きかけ、知って頂き、法律などを作って頂いたおかげで、今、私たちは仕事ができているのだと痛感しました。

○福祉事業部

特別養護老人ホーム勤務をしていた時は日々の仕事で精一杯であり、栄養士の使命を忘れかけていたことを感じていました。現在のケアハウスでは職員数が少なく、特養とは違った忙しさもありますが、仕事内容の改善に努めています。より良い食事内容を一番に考えられる環境を作る為に何が必要なのか、どうしたら良いのかを考えられるような広い視野が持てるようになりたいと思えました。



2022・2023 年度役員

- 支部長：小坂桂子
- 副支部長：高橋絹枝、倉林健
- 幹事長：伊部敏子
- 財務部長：佐久靖枝
- 各地域幹事 12 名
- 監事 2 名

～編集後記～

寒い冬が終わりに近づき、春が目前となってきております。新卒栄養士・管理栄養士も志高く社会へ飛び立ちますね。入職時には希望と共に不満もあり職場環境を良くするために、先輩である私たちが力を合わせて栄養士・管理栄養士ブランドの向上を実現していきたいと思う所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(副支部長 倉林健)